

5. 製造設備の明細

(1) 要目

番	号		
型	式		
冷 媒 ガ ス の 種 類			
基 準 凝 縮 温 度 (°C)			
許容圧力 (MPa)	高 圧 部		
	低 圧 部		
備	考		

(2) 圧縮機の性能 (図面は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
圧 縮 機 の 種 類			
気 筒 内 径 (mm)			
行 程 (mm)			
気 筒 数			
回 転 数 (rpm)			
ピ ス ト ン 押 の け 量 (m ³ /h)			
原 動 機 定 格 出 力 (kW)			
製 造 所 名			
安 全 装 置	安 全 弁	口 径 (m m)	計算書は別紙[]に示す。 計算書は別紙[]に示す。
		吹 始 め 圧 力 (M P a)	
		吹 出 し 圧 力 (M P a)	
	材 料		
高 圧 遮 断 装 置	作 動 圧 力 (M P a)		
備	考		

(3) 高圧部容器

<凝縮器> (図面は、別紙 _____、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計 圧 力 (MPa)		
設	計 温 度 (°C)		
シ エ ル 型	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)		
	内 容 積 (ℓ)		
	鏡 板、管 板 の 形 状		
	材 料 (胴 板・鏡 板) 管 板	胴 管 板	胴 管 板
コ イ ル 型	管 径 (mm) × 列 数 × 段 数 × 管 の 長 さ (mm)		
	管 の 材 料		
プ レ ー ト 熱 交	高 さ × 幅 × 長 さ × 伝 熱 板 厚 (mm)		
	伝 熱 板 の 枚 数		
	伝 熱 板 の 材 料		
製	造 所 名		
安 全 装 置 備	種 類		
	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	吹 始 め 圧 力 及 び 吹 出 し 圧 力 (MPa) 又 は 溶 融 温 度 (°C)		
	材 料		
備	考		

<受液器> (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計 圧 力 (MPa)		
設	計 温 度 (°C)		
外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)			
内 容 積 (ℓ)			
鏡 板 の 形 状			
材 料 (胴 板 ・ 鏡 板)			
製 造 所 名			
安 全 装 置 備	種 類		
	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	吹 始 め 圧 力 及 び 吹 出 し 圧 力 (MPa) 又 は 誘 拐 温 度 (°C)		
	材 料		
備 考			

<油分離機> (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計 圧 力 (MPa)		
設	計 温 度 (°C)		
外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)			
鏡 板 の 形 状			
材 料 (胴 板 ・ 鏡 板)			
製 造 所 名			
備 考			

<品名 > (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計 圧 力 (MPa)		
設	計 温 度 (°C)		
外径×長さ×胴板厚× ^{鏡板厚} _{管板厚} (mm)			
内 容 積 (ℓ)			
鏡 板 、 管 板 の 形 状			
材 料 (胴 板 ・ 鏡 板) 管 板			
製 造 所 名			
安 全 装 置 備	種 類		
	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa) 又は誘拐温度 (°C)		
	材 料		
備 考			

(4) 低圧部容器

<品名 (図面は、別紙 _____)>

番	号		
型	式		
設	計	圧	力 (MPa)
設	計	温	度 (°C)
外		径×長さ×胴板厚×鏡板厚 管板厚 (mm)	
内		容 積 (ℓ)	
鏡 板 、 管 板 の 形 状			
材 料 (胴 板 ・ 鏡 板) 管 板			
製 造 所 名			
安 全 装 置	種	類	
	口	径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa) 又は誘拐温度 (°C)		
	材	料	
備 考			

(5) 配管

区	分	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	材料
高	圧	部		
低	圧	部		

(6) 止め弁及び自動制御弁

区 分	止め弁、自動制御弁の区分	型 式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材 料	個 数
高圧部							
低圧部							

(7) 自動制御装置

種 類	有 ・ 無	作動圧力 (MPa)
低 圧 遮 断 装 置		
油 圧 遮 断 装 置		
過 負 荷 保 護 装 置		
凍 結 保 護 装 置		
断 水 保 護 装 置		
送 風 器 連 動 機 構		
過 熱 防 止 装 置		

6. 耐圧、気密等の性能（完成検査時まで提出すること。）

- (1) 材料試験等、耐圧試験及び気密試験証明書 別紙 _____
- (2) 冷凍用圧縮機耐圧試験気密試験証明書 別紙 _____
- (3) 機器試験合格証明書 別紙 _____

7. 製造施設の位置及び付近の状況

別紙 _____（平面図及び立面図）に示す。

8. 製造施設の構造及び製造設備の配置

別紙 _____ (平面図及び立面図) に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性、発火性のものをたい積した場所		安全装置	
火 気		受液器の液面計	
警 戒 標		保安上重大な影響を与えるバルブ等	
圧 力 計			

9. 製造設備の状況

(1) 火気等の状況

引火性、発火性のものをたい積した場所	無			
	有	種類・量		
		冷媒施設からの距離 (m)		
火 気	無			
	有	種類	(ボイラの場合は伝熱面積 () m ²)	
		冷媒施設からの距離 (m)		
		防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無	
		有	種類	

(2) 警戒標

表示事項			

(3) 振動、衝撃、腐しよくにより冷媒ガスが漏洩しない構造

防 振 措 置	振 止 め	
	可 撓 管	
	防振装置 ()	
	その他 ()	
突出部等の防護装置		
防 し ょ く 措 置	塗 装	
	その他 ()	

(4) 耐震設計

凝縮器 (たて置円筒形で胴部長さ 5m 以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
受液器 (内容積 5000ℓ 以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
外径 45mm 以上の配管 (内容積 3 m ³ 以上又は上記の凝縮器もしくは受液器に接続されているもの)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。

(5) 滞留しないような構造

区分	開口部面積 (m ²)	換気能力 (m ³ /min)
開口部のみの場合		
開口部の不足分を強制換気装置で補う場合		
強制換気装置のみの場合		

(6) 圧力計

区分	取付箇所	最高目盛 (MPa)	個数
高圧部			
低圧部			
圧縮機潤滑油			

(7) 受液器の液面計

液面計の種類	
ガラス管液面計の破損防止措置	

(8) 消火設備

消火設備の種類	能力	数量
消火器	能力単位 (B—)	本
その他 ()		

(9) 配管、バルブ類

種類	個数	開閉状態の表示	流体の種類及び方向の表示	封印等の措置
配管				
安全弁				封印
安全弁の元弁				禁札
自動弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水の止め弁				
ブライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

注) 自動弁とは電磁弁、逆止弁等をいう。

10. 冷凍保安責任者及び代理者の選任予定者

種類	氏名	資格
冷凍保安責任者		第 種冷凍機械責任者
同 代 理 者		第 種冷凍機械責任者

11. 完成予定日 _____年____月____日

12. 工事施工業者

名称				
所在地				
電話番号				
担当所属・氏名				
工事認定業者	認定区分番号		認定年月日	

13. 申請者連絡先

名称				
所在地				
電話番号				
担当所属・氏名				
県高圧ガス保安協会への加入状況	加入する (予定含む) ・ 加入しない			